

東芝テックOB会だより

第24号

2012年5月1日



会員の広場

長泉町を花いっぱいのに ～菅原 たみ子さん～

私は息子夫婦と元気盛りの孫2人の5人暮らし、賑やかななかにものんびりとした日々を過ごしております。生まれ育った宮城県はこの大震災で大変な被害を受けましたが幸いにも私の実家は建物の被害はあったものの犠牲者を出さずに済みました。私は縁あって昭和42年に東京電気に入社、基板課に配属されシェーバーの製造に携わりその後プリンタやファクシミリの製造も経験しました。当時は新しい製品が次々として出てきて仕事を覚えるのも大変で、また残業や休日出勤も多く子供との時間を作ることに苦勞もしました。毎年のように新入社員が入り歓迎会や職場仲間での旅行等懐かしい思い出がいっぱいです、良い会社だったと感謝しています。

私の住んでいる長泉町は静岡県東部に位置しています。愛鷹山麓の丘陵地に広がり、富士山を背に箱根連山を望む風光明媚な所です。新東名高速、沼津長泉ICが4月に開通、新幹線三島駅にも近く、東京が通勤圏とあって最近では住宅地として人気が高まっています。



人口はおおよそ41,000人、毎年人口の増加と相まって住宅も増え続けていて、昨今少子化時代と言われる中で昨年の子供の出生数が600人と多く、先々小学校の教室が足りなくなりそうと嬉しい悲鳴が聞こえてきます。町内には協和発酵や東レ、特殊製紙等の有力企業もあり、お陰様で町の財政も健全で教育・医療など子育て支援にもさまざまな努力がされています。子育てするなら長泉町との評判はちょっと自慢できるところです。

医療では何ととっても県立がんセンターがあり県内各地から多くの患者さんが来られます。私はその通り沿いに花を植えるボランティアをしています。春にはマリーゴールド、夏はサルビア、秋にはパンジーなど一年を通して色とりどりの花を咲かせます。患者さんやご家族の方々に少しでも慰めになればとの思いで長泉花いっぱい倶楽部の仲間と季節の花を植え手入れをしています。

また近くには井上靖文学館やクレマチスの丘、富士竹類植物園等見どころ一杯です。是非一度訪れて見てください。



伊豆半島ジオパークに魅せられて ～大坂 則久さん～

ジオパークという言葉をご存知ですか？ ジオとは大地・地球のことで、ジオパークとは大地の恵みを語る場所と言えます。国内では20地域が日本ジオパークとして認定されています。その中から洞爺湖有珠山、糸魚川、島原半島、山陰海岸、室戸の5地域がユネスコの世界ジオパークに認定されています。

伊豆地域の13市町は「南から来た火山の贈りもの」というテーマで、日本ジオパーク認定の実現に取り組み、平成27年の世界ジオパーク認定を目指しています。伊豆半島は、「南から来た」、「火山の上に火山が重なってできている」、「今でも活動中の小火山が集合&活断層がはっきり見える」、「これらが約80年前から研究されている」、「世界最先端の防災の取組と施設」それに加えて、「温泉、景観、食文化」などから魅力的なジオパークになる要素を持っています。

昨年、ジオガイド養成講座を、のべ5か月にわたり、座学と現地実習でジオパークを勉強し、ジオガイドに認定されました。現在は、函南町のジオサイトである丹那断層公園や玄岳・十国峠などのガイドが中心ですが、伊豆半島北部のジオガイドが務まるように現地見学に励んでいます。伊豆半島の西海岸・東海岸・南伊豆には魅力的なジオサイトがたくさんあります。今までとは違った視点で観光地やマイナーなサイトを再発見しています。ジオを始めると、この岩・山はどうしてできているか、この露頭はなんなのだろう、と次々と

疑問が出てきます。また地質学にとどまらず、地震の発生メカニズム、温泉や金鉱はどうして伊豆に多いのか、魚がなぜおいしいのか、などの色々な関心事項が出てきます。ここが世界遺産と違うところで、ジオパークは、風景だけでなくその背景・自然災害・人々の生活・観光などに関わりあっています。

退職後にこのような素晴らしいライフワークに出会うことができ、毎日が充実しています。これに加えて、デジカメの撮影も勉強し始めました。ジオパークをメインに写真やウォーキングも充実し、半島各地に友達の輪が広がっています。今年もジオガイド養成講座が開催されると思います。ぜひ、一緒に伊豆半島ジオパーク推進に協力してみませんか。ガイドの必要があれば連絡ください。OB会のHPにブログをリンクしていますので活動の一端をご覧ください。



後列・右から2人目

近況報告 ～鎌田 芳郎さん～

昨年の秋、旧江戸東京散歩OB会ウォークの四弾「羽田新国際空港」を開催しました。新たに誕生した国際ターミナルを散策するのが目的でしたが、空港の中になぜか赤い大鳥居が鎮座しているので、これを歴史探訪の目玉にするべく、江戸の新田開拓まで遡って調べたところ、羽田獵師町の名主が、津波から堤の穴を守るために、穴守稲荷神社を造り災害から備えた事が判り、歴史の再発見が有って、ガイドする喜びが倍増した次第です。



近況報告 ～塚原 仁さん～

2003年40数年のビジネスマン生活リタイア少しのんびりしようと考えた矢先、「お前も地元のことを勉強しろ」と子供の頃からの悪童仲間たちからなかば強引に府中市主催の「かんきょう塾」受講を勧誘され、初めて首を突っ込んでみました。

それまでの私にとって「かんきょう問題」は公害問題などで活動しているNPOやスペシャリストが担っている運動で自分の生活にとって深く関係しているという認識はなく、それへの関心も薄いという程度でした。リタイア後翻ってよく周囲を見回してみると、子供の頃遊びまわっていた麦畑や田んぼはめっきり減って住宅地になっている、悪童仲間と魚とりをした用水はすっかり暗渠になっている、多摩川も「タマゾン川」といわれるようになってきている、ふるさと府中がなくなったのではと・・・改めて気づかされました。

当初あまり面白そうに思えなかった「かんきょう塾講座」は地元の知らなかったこと、見たことの無かったことの再発見、ゴミ問題、食問題とフードマイレージ、水とみどり、生物多様性等々自分としては気がつかなかったことと当と

の出逢いがいっぱいできてきました。

また、初対面の人々と環境問題をグループで話し合い、アンケートを考え自分達で回収し、議論しワイガヤで取り纏めた自主研究のレポート作成等それこそ一期一会、新しいコミュニティーに加わったという実感が湧いてきました。

2004年以來 瞬く間に8年たって、今ではボランティア活動にどっぷりつかり、社会教育団体「かんきょう塾ネット」の代表に推され、「環境に優しい市民、行動する市民」の和を広げていく環境学習に取り組んでいます。口の悪い友人達から「塚原も随分畑違いなことをよくやっている」と時々からかわれていますが、現在、4月から始まる2012年度「かんきょう塾講座」のあいさつ文を書きながら少し省みています。



2011年度閉講式での挨拶



少し恥ずかしかった親子でエコクッキング

ぶらーりー人旅のコツ ～藤田 秀明さん～

- ①旅の本とパソコンで、目的地をリサーチして、自分のマップをつくる
- ②持ち物
 - ・リュックサックで身軽に（保険証の写し or 運転免許証）
 - ・捨ててきてもいい着替えを持参（普段、着なくなった肌着類、靴下などを使用し廃棄してくる）
- ③ほとんどの駅50m近くには観光案内所と交番がある
 - ・その観光案内所で、パンフレットをゲットする（観光案内、評判店・うまい店、ホテルなどが載っているもの）
 - ・宿探し（駅近くのビジネスホテル、素泊まり）
- ④その土地の名物、安くてうまいものをつまみに一杯はいかが
利点
 - ・気兼ねなく飲め、のんびりと気楽に旅するこ

とができる

（細君一緒だとそうはいかないかも？）

- ・計画は自由に変更・修正ができる（費用は若干積み増しになるが）
- ・最初から全てに関わるのでいつまでも鮮明に記憶に残る

“旅することは生きること”

アンデルセンの言葉より



左から2人目

会員の紹介

「東洋一の湧水」柿田川と生きる ～下川原 里見さん～



下川原里見さんは三島事業所の部品課に勤務され平成3年に定年で退職され、今は「財団法人柿田川みどりのトラスト理事」に所属され会社勤務時代は土日、今では毎朝柿田川の再生・保全活動に第一線で活躍されています。

また、昼間は柿田川の第一展望台で見学者に対して解説をされています。



柿田川湧水は市街地の真ん中でこつ然と湧き出し、延長約1200mの河川となって狩野川と合流する。

源は40km北方の富士山降った雨や雪で、これが火山礫や溶岩（三島溶岩流）と接し、それらに含まれる物質を溶かして旅を続け地中でおいしい

水になってここに湧水しており、環境庁が指定した名水100選に選ばれております。

富士山から柿田川に到達するまで100年とされていますが、研究家の説では10年が有力です。



現在1日約100万トンの清水が湧き出し、このうち20万トンが静岡県東部の沼津市、三島市、熱海市、函南町、清水町の約35万人の飲料水として利用されています。

下川原さんたちは、付近の工場排水のため魚も棲めない、草も生えてなかった川を長年かけてヘドロを捨て、ゴミを引き上げ、川底を洗うなど柿田川の保全活動に励み今のようなきれいな水になりました。

お客さんから「いつもきれいですね」と言われると「これからも頑張ろうと言う気持ちになる」と笑顔で話してくれました。

（インタビュー：常任幹事 友久保）

県知事表彰 環境大臣表彰など多数

定年後 16年間環境整備活動に貢献 ～田中 光顕さん～

平成8年からボランティア活動として環境美化推進活動に積極的に関わり、静岡県副会長、会長、全国大会の理事などを歴任し、環境整備に多大な実績をあげ、その間、掲題に挙げたように多くの名誉ある表彰を受けました。

実績具体例として、レジ袋の削減を上げる事が出来ます。これは燃えるゴミを減らす活動の一環として「マイ バッグで買い物、レジ袋は有償」と大手スーパーなどの協力により、三島市では現在削減率88.5%を達成しています。

燃えるゴミを減らす運動は生活環境を守る上で大変重要な課題であることは言うまでもありません。

ゴミ処理の有料化も検討され、地域によっては、熱海、伊東などすでに実施している所もありますが、不法投棄、税の二重取りなどの懸念があるようです。

燃えるゴミの有効活用が進んでいる地域は九州方面で、完全肥料化などにより燃えるゴミ処理は殆ど無しに等しいという事です。しかし、肥料化には個人負担も含め相当な費用を要する事から多くの地域では進んでいないのが現実だそうです。

そこで田中さんが近年積極的に推進しているのが、ミックス古紙を分別し資源化する運動です。ミックス古紙とは、菓子類などの空き箱、ハガキ・ダイレクトメール等の郵便物、紙カップ、コピー紙等々です。まず地元の町内からと、30家族ごとに徹底を図る方策をとり、かなりの量のミックス

古紙の回収ができ始めたそうです。

次に、東日本大震災のがれき処理の問題です。静岡県は、「明日は我が身」の立場から、率先して受け入れるべきと田中さんは訴えています。三島市など焼却済み灰の埋め立て地が飽和状態に近く、他地域へ依頼せざるを得ない為、その、他地域の了解を合わせて取り付ける必要があるなど困難な問題があります。

また「受け入れるな!!」といった脅迫まがいのTELを受けた理事もいるなど、真に残念だと話されていました。

活動内容の詳細は、三島・函南支部の総会で紹介する企画もあり、期待されます。

現在、奥様と2人ご自宅で生活されていますが、「近所に住む小学4年生の孫が学校帰りに立ち寄り、食事して、風呂まで入って帰る」と話す笑顔に良いおじいちゃん振りを垣間見ることができました。

この2月で主な役目は終わりにしたという事です。が、「大変でしょうが、まだまだ頑張ってください」と言いながらご自宅を後にしました。

平成24年3月12日 田中光顕さんご自宅にて

(記) 松永秀隆



写真の表彰状は右端が県知事表彰、左端が環境大臣表彰



HIMANA-Kunの「こんにちは～ おひさしぶりで～す。」シリーズ第1回 「私たちが、東芝テックOB会のホームページを運用しています。」

今回は、第1回目目の訪問として、ヒューマン・エンジニアリングの代表取締役の北條 安さんと技術統括部のプロデューサーの西川 淳さんを訪ねました。北條さんは OB 会のメンバーです。

HIMANA-Kun 「北條さん、西川さん。東芝テックのOB会のホームページの運用では大変お世話になっています。皆さんにはどのような仕事をしていただいているのですか？」

西川さん 「去年は、現在のホームページのシステム構築をしました。現在は大きく分けて、一つは、レンタルのサーバー会社からサーバーを賃借して、データの更新や管理をしています。もう一つは、ホームページのドメインの維持管理です。ドメインとは、東芝テック OB 会のホームページのアドレスのことです。http://www.toshibatec-ob.jp/ は世界で一つだけ与えられたものです。」

HIMANA-Kun 「ご苦労された点や、こだわっている点はなんですか？」

西川さん 「システムを作る際、たとえば「訃報」ですが、今はOB会の事務局の方に直接データを入力していただいています。これによって速報性がずいぶん上がっています。このために、入力フォームを標準化して人が代っても容易に入力ができるようにしてあります。」

北條さん 「ホームページの文字を大きくして、目に対する負担を軽減しました。」

西川さん 「ホームページの1ページ目では、カテゴリー別に色分けし、色も安らぎのある系統にしました。」

HIMANA-Kun 「今後、改良してゆきたいことはなんですか？」

西川さん 「今話題の SNS です。SNS とは、Social Networking Service です。ホームページに参加していただいている方々に、もっと双方向のコミュニケーションの場を提供したいと思います。OB 会便りは、年 4 回ほど発行されますが、これは一方向で“お知らせ”ということになります。しかし、ホームページは、コミュニケーションの場になるようにしたいと思います。」

北條さん 「総会のとときの社長さんのあいさつなどは、動画で見たいですね。このシステムは、今流行の You Tube の環境を使って構築できますよ。また自分が見せたい動画がホームページで見れるようにしたいですね。」

HIMANA-Kun 「今流行のスマートフォンでもパソコンと同じように見えるようにできますか？」

西川さん 「できますが、システムから、かなりの変更が必要です。調べてみます。」

HIMANA-Kun 「今日はお忙しいところお付き合いいただきありがとうございます。ところで西川 淳さんのお父様は、東芝テック時代研究所の所長から監査役をされた西川 昶さんとお聞きしました。大変お世話になりましたが、亡くなられて残念です。しかし天国で淳さんの活躍を喜んでいらっしゃるでしょう。」

HIMANA-Kun 「北條社長の会社はいろいろなことをされていますね。」

北條さん 「はい、いろいろトライしています。ファルマバレープロジェクト（富士山麓先端健康産業集積）などに参加もしています。今後このホームページの横展開もしたいです。」

HIMANA-Kun 「改めてどうもありがとうございました。」

あとがき お二人のお話を聞いて、大変勇気づけられました。OB 会の広報として「OB 会だより」と「ホームページ」を新しい技術を使ってもっともっと親しみやすくなるようにしたいと思いました。

以上



プロデューサーの西川 淳さん
ホームページをより見やすく、温かみのあるものにしようと、頑張っているらしいです。
西川 淳さんの父君は東芝テックの研究所長や監査役を務められました西川 昶さんです。
今の息子さんの活躍を天国から見ていることでしょう。



社長の北條 安さん
三島市に事務所を構えて活躍中です。OB 会のホームページの運用には多大なご配慮を頂いています。
会社名：ヒューマン・エンジニアリング
住所：三島市玉川 325-2
ICCビル 2 階
URL：http://www.human.co.jp

東芝ライテック“照明器具製造工場”見学会の報告

(見学場所：株式会社 LDF 沼津工場)

秋空も爽やかな去る 11 月 15 日、予て OB の皆様から要望のあった東芝照明器具製造工場（株式会社 LDF 沼津工場）の見学会が実施されました。

当日の参加者は男女合わせて 34 名、昭和 20 年代に当時大仁工場で照明器具設計に携わったという長老を始め、定年後も最近まで照明製造にかかわった方、孫が勤務しているからと様子見に来られた方なそさままで多くの方が見学されました。

(株) LDF の乾社長様から歓迎のご挨拶を頂き、東芝テックから事業を引き継いで現在までに照明技術も大きく進化していること、東日本大震災の影響で消費電力の少ない LED 照明器具の需要が増加していることなどを伺いました。OB 会を代表して杉之内会長からは OB 会の見学希望に対して LDF 様の快い受け入れに感謝の意を表明、事業移管して 10 年が経過、今どのような変化があるか見せて頂きたいと期待が述べられました。その後、LDF 会社概況の説明を受けた後 3 グループに分かれて製造の各現場を案内して頂きました。

放電加工機を具えた金型製造、大型ターレットパンチの部品加工現場、リフローハンダの電子部品実装などかつて懐かしい製造装置を眼にして感慨もひとしお、またそこで汗を流し技術を磨いて仕事をしている人に思わず質問を発する人、顔見知りを見つけては旧知を温めている人、それぞれの思いを込めて見学は進みました。その中でも見

学者の注目は最新型の LED 照明器具の製造ラインでした。発光ダイオード技術で各社が凌ぎを削る中さすが東芝照明との思いを強くしました。これがルーブル美術館正面の壁面ライトアップに取付けられる製品です、同時に中庭のガラスのピラミッドのライトアップにも当社製品が使用され 12 月 6 日には点灯式が行われますとの説明に感激、その様子は 12 月 8 日付新聞にルーブルのエコ照明として紹介されました。その他、第二東名 SA 向け LED 器具、蛍光灯器具でもセブンイレブン店舗用やジャイアンツ球場へ納入する HID 器具等々大変興味深く見学することが出来ました。

見学が終わった後質問の時間を設けて頂きましたが、LED の消費電力は、波長は、明るさはと元技術者らしい専門的質問や、長寿命を追及すると将来会社の売り上げが落ちるのではと心配症の方、プレス加工工程で油が少ないと環境への取り組みに感心したり、未だ元気な OB の一端を披歴した見学会でした。今回の見学会は会社総務事務局のお世話により、また(株) LDF の乾社長様、工場総務部長様他おおぜいの皆様のご厚意により楽しく有意義に実施することが出来ました。皆様に感謝申し上げます。

東 記

支部ニュース

■三島・函南支部■

●三島・函南支部総会近づく！！●

三島・函南支部総会は、5月16日に開催することになりました。
平成24年度の活動計画案が、幹事会で承認されましたのでお知らせ致します。
(これは総会議案事項ですので念の為)

●平成24年度活動計画●

平成24年4月～平成25年3月

*平成24年5月16日

支部総会 第一部 総会

第二部 講演会 (1) 環境

“ゴミ処理に関する体験談”

講師 三島支部の会員

(2) 環境とエコ “生活防衛こそが環境改善への道”

講師 外部コンサルタント

第三部 懇親会

*平成24年6～7月 グラウンドゴルフ&エコセンターの見学

*平成24年10月 秋のウォーキング

*平成25年1月 ボーリング大会&新年顔合わせ

*平成25年3月 春のウォーキング

詳細につきましてはその都度ご連絡致します。他支部をはじめどなたでも結構です、
多くのかたの参加をお待ちしております。(幹事にご連絡ください)

参考までに平成23年度に行われた活動状況は次の通りです。

23. 4. 6	グラウンドゴルフ&お花見	31名参加
5.18	支部総会	48名参加
	実技ストレッチ&体力向上運動	
	(エンジョイスports竹之内先生)	
6.18	ふじのくにグルメまつりin三島ウォーク	14名参加
8. 5	東芝テック静岡事業所納涼祭	13名参加
11. 4	本部総会に	30名参加
15	東芝ライテック工場見学	18名参加
30	葦山史跡探訪ウォーキング&懇親食事会	36名参加
24. 1. 12～13	幹事宿泊研修会	16名参加

●幹事研修会●

三島・函南支部幹事による研修会が、H24年1月12日から13日にかけて伊豆長岡の“弘法の湯”で開催されました。

23年度の振り返りと24年度の活動計画の素案に対して多くの意見が出されました。

話し合いの結果、24年度の活動骨子（総会・春のウォーキング・グラウンドゴルフ・秋のウォーキングの4本柱、その他）案を幹事一同確認しました。

幹事会終了後、引き続き新年会を行い、お酒を酌みながらの懇談も花が咲きました。



普段できない夜を徹しての話し合いも効果的でした。

●蕪山史跡探訪ウォーキング●

風もなく寒くもなく、素晴らしい好天に恵まれた“蕪山史跡探訪ウォーキング”が、36名の多くの参加者が集い、11月30日に行われました。

蛭が小島、元蕪山城の麓にある城池温水公園をみながらウォーク、普段なかなか見ることのできない、江川邸の隅々全てを見、触れることができたのは幸運でした。

（ガイドをしていただいた、伊豆の国支部会員の松倉信明さん、藤井孝俊さんどうもありがとうございました。）



松倉さんのガイドにて 蛭が小島



紅葉の道を散策

さらに、江川邸の菩提寺である本立寺に立ち寄り、最終見学場所は世界遺産を目指している反射炉を、身近にみることができました。

その後、参加者全員で食事会を開催し、懇親を図ることができ素晴らしい一日でした。



江川邸見学記念



江川邸の歴史につき説明していただく



鳴沢レストランにて昼食

参加者の一言

Aさん：小学校の頃、遠足できたころと様変わり、詳細な説明を聞き、真近に見、新しい蕪山を発見することができた。

Bさん：素晴らしい史跡の数々を改めて見ることができ良かったと思います。

Cさん：あっちこっちにある、重要文化財の多さに驚かされました。（三島より多いのでは？）

Dさん：記憶の1ページとしていきたい、次回もいい場所を見つけてください。

などの感想をいただきました。

有意義だった一日有難うございました、幹事一同感謝申し上げます。

伊豆の国支部

●伊豆の国支部活動報告●

伊豆の国支部がH23年6月に設立し、各地区ごとの幹事を決め、下記のメンバーで活動しています。

支部長 菊池重生
会計 小澤 晃
会計監査 渡辺利伊

幹事 大仁地区 今井 稔 佐藤寿一 鈴木政孝 山川信行
葦山地区 榎本昭雄 松倉信明 横森三男 斎藤哲也
長岡地区 小澤 晃

支部としての活動は

- 1 支部総会、懇親会
- 2 各種交流会、レクリエーション

上記行事は、会員の要望及び、役員会で必要と認められた時に開催する。

支部発足にあたり、会員全員（165名）に各種交流会に関してアンケートを行い、125名の会員の皆様より回答がありました。

	総 会		散 策			趣 味		旅 行
	支部総会	本部総会	史跡探訪	撮 影 会	市内温泉	ゴ ル フ	釣 り	バ ス
参 加	66	18	40	11	32	23	4	39
不参加	31	64	43	78	56	84	95	48
未 定	28	43	42	36	37	18	26	38
合 計	125	125	125	125	125	125	125	125

アンケート集計において多数の要望がありました中から行事を進めていく予定です。

第一回目としてウォーキングをしながら伊豆の国市葦山の史跡探訪を計画しました。（4月21日）

今後、行事予定は随時東芝テックOB会だより、及びホームページに掲載していきますので、支部以外のOB会員の参加も希望いたします。

菊池重生

●第2回 東芝テック OB会伊豆支部ウォーキング●

H24 修善寺 新緑ウォーキング

新緑の修善寺温泉場ウォーキングしませんか。食事後、解散します。

他支部、未加入のOBの方も参加出来ます。奮ってご近所のOBの方も誘って下さい。

— 記 —

1. 開催日時：平成24年5月18日(金) 小雨決行(前日AM8時判定)
2. 集合場所：修善寺総合会館前 駐車場(バス 総合会館前)
3. 集合時間：9:00 受付開始 / 9:30 出発
4. 参加対象：東芝テックOB会員及びその家族(未加入者は当日入会申請)
5. 参加費：1,000円(お弁当、飲み物代) 交通費は各自負担
(他支部の方、伊豆支部長に参加連絡下さい)
6. 申込み：下記電話又は申込書をご提出下さい。
申込みされずに当日参加されてもOKですが、保険、弁当が準備できません事、ご了承下さい。
(この場合、会費は無料です)
7. その他・持参品：水・健康保険証・雨具・など

<コース> 修善寺温泉史跡・文学散歩(虹の郷入園にあたって証明になるもの持参下さい)
起点 修善寺総合会館→修禅寺→弁天堂→梅林→虹の郷一周(食事)→修善寺総合会館

<申込先> 支部長 島崎準一郎 72-3681(牧之郷) 携帯 090-4234-6354
幹事 秋津正敏 72-1141(瓜生野) 山下静男 72-3906(牧之郷)
小野豊昭 72-1529(本立野) 板倉明 72-4177(堀切) 土屋守 79-0516(大野)
片山将 72-1297 矢込修二 72-3961(熊坂) 廣川利春 72-6740(柏久保)
月出祿久 72-4333(修善寺) 長谷川清 85-1233 飯塚輝芳 87-1282(天城湯ヶ島)
田村芳之 83-2075 杉山和義 83-0620(中伊豆)

----- 切り取り線 -----

第2回伊豆支部ウォーキング 申込書

東芝テックOB会伊豆支部 殿

H24-5-18(金)のウォーキングに参加します。

氏名	参加場所	修善寺総合会館前	その他

ご同伴数	あり(人)	なし	他支部()

事務局より

《会員の状況》（H23/10-H24/3）

☆新会員

秋元芳徳さん、浅野修一さん、池田長生さん、伊藤英夫さん、内田 篤さん、大澤 薫さん、木部輝彦さん、黒崎政和さん、佐久間秀雄さん、佐藤三男さん、佐野順一さん、塩田高明さん、瀬良 剛さん、高田幸博さん、高橋敬次さん、多田春男さん、馬場正孝さん、原 宏義さん、深澤勝美さん、二木一平さん、松下 剛さん、向井省吾さん、室野十九吉さん、森島 浩さん

☆逝去会員

杉山好春さん（H23/10）、原 直さん（H23/11）、山田三男さん（H23/11）、岡田秀夫さん（H23/12）、藤田泰山さん（H24/2）、結城保さん（H24/2）、長 實さん（H24/3）、増田龍彦さん（H24/3）

《その他》

☆東芝テック OB 常任幹事会が開催されました

1. 開催日 平成 24 年 2 月 29 日（水） 10：00～12：00
2. 場 所 大崎本社 2F 2B3 会議室
3. 議事内容（抜粋）

＜会費未納者の取扱いについて＞

会費未納者の取扱いについては、会則上、明記されていない。具体的な運用上では、3 年以上未納者に対しては、退会扱いとして取扱っていたが、必ずしも徹底されていない。主な原因は会員に対して、明確な会としての意思表示をしていないことではないかと推測される。従って、あらためて会則第 7 条（会費）を改定し、次回総会に提案し徹底を図ることとする。

改定案第 7 条

会費は年会費として 2,000 円を徴収する。

但し、特段の事情なく、3 年以上会費を未納した場合は、退会扱いとする。

（注）退会扱いにする場合は、事前に幹事会に提案し承認を得ること。

＜ご参考＞年会費未納状況（2012 年 3 月末現在）

1 年分未納者	2 年分未納者	3 年分以上未納者	計
205 名	48 名	64 名	317 名

☆年会費お振込みのお願い

同封いたしました郵便振込用紙にて、2011 年度年会費（2 千円）を 2012 年 5 月末までにお振込願います。なお、すでにお振込いただいておりますら、誠に申し訳ございませんがご一報いただきたく、よろしくお願いたします。

- 注）
1. 2011 年度年会費を既に支払済の方は、郵便振込用紙を同封しておりません。
 2. 終身会員の方（数え年 85 歳以上）は、2011 年度年会費免除となりますので、郵便振込用紙を同封しておりません。
 3. 昨年度（2010 年度）以前に年会費未納がある方に対しては、2011 年度年会費分と併せてお支払願います。（郵便振込用紙の金額欄には、未納分と 2011 年度年会費分を併せた金額を記載しております。）